

都の取組状況

- ・宿泊税は、国際都市東京の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てることを目的として、平成14年に導入されました。
- ・制度創設から20年以上が経過し、旅行者の増加などに伴う行政需要の増大、多様な施設形態の登場や宿泊料金の変化など、東京の観光は大きく変化しました。また、東京都を訪れる外国人観光客は増加傾向にあり、都はこれらの状況に対応した宿泊税の周知を行う必要があることから、現在は主税局HPを中心に宿泊税の概要等について広報をしています。
- ・また、宿泊税に関するリーフレットを作成し、ホテルのフロント等に設置してもらい制度周知を図っています。
- ・参考リンク：[東京都主税局「宿泊税」](#)

現状の課題

- ・宿泊税はホテルのフロント等で支払う機会が多いことから、宿泊事業者に宿泊税の説明負担が生じています。
- ・ホテルのフロント等に三つ折りのリーフレットを設置していますが、使い勝手が十分とはいえず、デザイン等を工夫し、より手に取りやすいものに見直す必要があります。
- ・外国籍の方を含むより多くの宿泊者に対して、宿泊税の制度や用途についてわかりやすく説明できる環境を整えるとともに、付加価値のある情報やコンテンツを用いて、興味関心を引く設計を構築する必要があります。

期待するサービスの例

※現時点でのイメージで、今後変更可能性があります。

- ✓ 宿泊税に関する、宿泊者向け特設サイトの作成
- ✓ 宿泊税の制度概要及び観光情報に関する各種コンテンツ等を多言語翻訳することができるサービス・機能（英語、中国語、韓国語は必須）
- ✓ 宿泊税の概要・用途を説明できる音声発信、多言語対応メディアサービス
- ✓ 宿泊税に関して宿泊者が分かりやすく・楽しく理解できる、AIアバター・動画・アニメ・等を用いた多言語対応ソリューション
- ✓ 特設サイトにアクセスさせるための、ホテルのフロント等で配布可能なPRカードの作成
- ✓ PRカードの付加価値を高めることができる、多言語に対応した音声ガイド、XRコンテンツ等のソリューション

その他の要件

「PRカード」は名刺サイズで、表面には特設サイト等に遷移できる二次元コード、裏面には外国人に人気な東京の象徴的な風景（東京タワー等）を印刷し、コレクションカード化を想定しています。

宿泊税の制度概要や用途の理解促進

宿泊者にご理解いただいたうえで、宿泊税を納めていただくことができる。
ホテルのフロント等における従業員の説明の負担軽減につながる。